

## 【中学3年生へ ～今何をすべきか】

2学期も11月。3年生にとっては、中学校生活最後の体育祭や文化祭が終わり、進路学習も終盤となりました。習熟度（学力）テストや定期テストの勉強にも力を入れなければならない今日この頃…。どんなことを目指して生活していますか？

進路を最後は自分自身で決めます。最終決定が早ければ早いほど、その達成に向けての準備に余裕ができます。学校の（特に3年部の）先生は、正念の入らない生徒（たち）に叱咤激励を飛ばされているこの時期、主人公である自分がどういう気持ちでどう動くかが10年先の自分自身に大きな影響を及ぼします。皆が中学校最後のベストチャンスを生かしてほしいと思います。

具体的な話をします。

点数の向上を**焦らないことが大事**です。言ってしまうと、点数はもうそんなに急に上がりません。たくさんの先輩が実証しています。**何よりも大切なのは、自分は何をしに、何のためにそこを目指すのかという志向です。**ここが弱いと合格後の自分はすぐに気持ちが緩くなってしまいます。**いまあなたが頑張っているのは、合格のためではなく、合格後の自分がくじけずに頑張れるためです。**まずそういう気構えが大事です。中には、高校側からの部活動等の勧誘があり、推薦入試を受検（験）することになる人も多いと思います。でも、合格のために話に乗るような安易な気持ちでは、入学後のあなたは今期待されている自分とは程遠く、「こんなはずじゃなかった」的なことになる可能性大です。

三者面談で自分の志向を先生や保護者の前でしっかりと語れ、ときには説得できるくらい強い気持ちを出したいものです。ただ「そこに入りたい」だけでなく、「なぜそこに入りたいか」という目的意識、そして「そのために今をどうするのか」が行動に表れてくることが重要です。それは今までで最高の自分を創るためにとても大切な取組です。

いずれにしても、いま頑張るラストチャンスかつベストチャンスです。**成績の数字に表れるのは2～3カ月後**。つまり来年1月上中旬です。いまの努力の成果は、最後の習熟度（学力）テストに確実に出てくるのです。最後の習熟度テストで自信をつけて本番の入試で過去最高を目指します。

クラスの最後の団結は、合唱だけではなく、それぞれの進路に向けて気持ちを新たに一致団結して一人一人が精いっぱい挑むのです。受験は団体戦です。お互いに励ましあって頑張してほしいと思います。

数学の話題にします。

まず、**基礎計算力の定着**です。数や式の計算、方程式、連立方程式、ルート計算、展開、因数分解、二次方程式の解法などは、滞りなく演習を重ねておくこと。**演習はできる問題を数多く（8割くらい）行い、過去問や受験問題で難易度の高いものをやりすぎないことが大事**です。

そして、**関数**では、基本をしっかり整理して、基本の理解度を確かめられる問題をたくさん行い、そのあとに、応用的な問題を演習します。基本が理解されていないと関数（比例、反比例、一次関数、二次関数）の問題は全くできません。

次に**図形**です。図形は用語やその意味を覚えたり理解したりしたのち、言葉で説明する練習をします。できれば声に出して誰かに聞いてもらう。そういう経験が多ければ多いほど、論理思考力や表現力が身に付き、証明や図形的センスが磨けます。ほんとうは1、2年生のころから、図形的なセンスを身につけるチャンスがあったわけですが、もう後のまつりです。

いま図形が苦手な人は、次の順で勉強していきましょう。①用語を覚える→用語を使って話す。②平行線や角の関係の問題を演習する。③多角形の性質を復習し、角の大きさを求める問題を練習する。④作図問題の勉強。④円周角関連の問題。⑤平面図形や立体の計量（面積や体積）⑥三角形の合同と相似の証明。⑦三平方の定理。

……苦手な人には結構ハードですが、やるしかありません。

あなたの最短ルートは MaeL 塾で診断します。ご来塾をお待ちしております。

さてまだあります。**確率と資料の整理**です。ここは、比較的出題パターンが決まっているので、短期間で復習できます。コツは MaeL で…。

この時期、だれもがつらいと思いますが、**頑張れるだけの強い気持ち（信念、志向）を持つように焦らずにじっくりと前進**していきましょう。

（MaeL 塾 塾長）